

遠野

議会だより

発行：遠野市議会

平成22(2010)年3月

No.19



すこやか・さんぽ

達曽部幼稚園・保育所

楽しかった園生活に、まもなく別れを告げ、小学校という新しい環境に飛び立とうとしている年長組。卒園式を目前にして、「一年生になったら…」の歌にも力が入ります。

先生やお友達との色々な思い出を胸に刻んで、12名の元気な子ども達が巣立とうとしています。

(佐々木 栄子 所長)

| 主な内容 1月臨時会・3月定例会

- ◆定例会等の概要 …… 2P
- ◆1月臨時会・3月定例会議案審議結果 …… 3P
- ◆一般質問 ～9人が登壇～ …… 4P～12P
- ◆予算等審査特別委員会質疑 …… 13P～15P
- ◆私のひとこと・編集後記 …… 16P

1月臨時会・3月定例会

平成
22年度予算
175億
8,600万円
可決!!

定例会では市長の施策方針
演述が行われた▼



1月臨時会

平成22年1月臨時会が
1月29日に開かれ、2議
案を原案のとおり可決し
ました。

審議結果 ※議長を除く

議 案 名		賛成	反対
議案第1号	遠野市ケーブルテレビジョン放送施設条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第2号	遠野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	18	3

3月定例会

平成22年3月定例会が
2月26日に招集され、3月
11日までの14日間の会期で
開かれました。

今定例会では、市長の

市政方針演述があり、一般
質問には9人の議員が登壇
し、新年度の施策全般に
わたり質問がありました。

提案された条例9

件、一般会計予算（175億
8千6百万円）、他予算17
件、その他5件、全31議案
の全議案を原案のとおり可
決したほか、最終日には請
願2件を継続審査とし、意
見書3件を可決しました。

〔請願〕

◆請願第1号

「後期高齢者医療制度の
廃止を求める意見書」の提
出を求める請願（継続審査）

◎ 請願者 高橋八郎

◆請願第2号

最低賃金法の抜本改正と
安定雇用の創出、中小企業
支援策の拡充・強化に関す
る請願（継続審査）

◎ 請願者 鈴木露通

〔意見書〕

◆意見書

改正貸金業法の早期完全
施行等を求める意見書（原
案可決）

◆意見書

「ヒロシマ・ナガサキ議
定書」のNPT再検討会議
での採決に向けた取り組み
を求める意見書（原案可決）

◆意見書

生産性の高い競争力に
富んだ農家の育成を求める
意見書（原案可決）

議決等の結果

～3月定例会議案審議結果～ ※議長を除く

議 案 名		賛成	反対
議案第3号	遠野市物産振興基金条例を廃止する条例の制定について	全会一致	
議案第4号	遠野市ふるさと振興基金条例を廃止する条例の制定について	全会一致	
議案第5号	平成21年度遠野市一般会計補正予算(第9号)	全会一致	
議案第6号	平成21年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致	
議案第7号	平成21年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	全会一致	
議案第8号	平成21年度遠野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	全会一致	
議案第9号	平成21年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第4号)	全会一致	
議案第10号	平成21年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	
議案第11号	平成21年度遠野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致	
議案第12号	平成21年度遠野市水道事業会計補正予算(第2号)	全会一致	
議案第13号	遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第14号	遠野市消防長の任命資格を定める条例の制定について	全会一致	
議案第15号	遠野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第16号	遠野市病児等保育施設条例の制定について	全会一致	
議案第17号	遠野市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第18号	遠野市中小企業振興資金融資あっせん条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第19号	遠野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第20号	公の施設の指定管理者の指定について	全会一致	
議案第21号	公の施設の指定管理者の指定について	全会一致	
議案第22号	市道路線の廃止について	全会一致	
議案第23号	市道路線の認定について	全会一致	
議案第24号	市道路線の変更について	全会一致	
議案第25号	平成22年度遠野市一般会計予算	全会一致	
議案第26号	平成22年度遠野市国民健康保険特別会計予算	全会一致	
議案第27号	平成22年度遠野市老人保健特別会計予算	全会一致	
議案第28号	平成22年度遠野市後期高齢者医療特別会計予算	全会一致	
議案第29号	平成22年度遠野市介護保険特別会計予算	全会一致	
議案第30号	平成22年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計予算	全会一致	
議案第31号	平成22年度遠野市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致	
議案第32号	平成22年度遠野市下水道事業特別会計予算	全会一致	
議案第33号	平成22年度遠野市水道事業会計予算	全会一致	

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

産直かみごうの今後について



瀧澤 征幸 議員
(とおの 会議)

を実施してきた。

平成21年12月の月間有効求職者数が636人に対し月間有効求人数は196人分しかない。そのため、有効求人倍率も0.31倍と、昨年同期よりも低い状況である。

景気浮揚の為の経済対策

としては、住宅リフォームを支援する快適住マイル応援事業、浄化槽設置事業等に取組み、大型建設事業にあつては、継続事業としての斎場整備事業、遠野北小学校大規模改造事業、綾織小学校改築整備事業、ふるさとの街賑わい創出事業

(中、中心市街地活性化事業)に引き続き取り組むほか、本年度から消防庁舎の建設にも着手するところであり、

ハード、ソフトの両面から遠野らしい事業を展開していく。

「産直かみごう」については、現段階では、なお精査すべき課題があるとの認識から、独自の販売メニュー、運営体制、建築規

模及び場所等について、計画の詰めや補強を行うための調査を行う。また、施設整備にあたっては、国・県の補助事業の有効活用が重要ポイントと考えている。

22年度の前半に計画の精査を完了し、早期の整備を進めるよう取り組む。

【その他の質問】

・農林水産振興ビジョン

・総合食育センター構想

・総務局

・建設部

・環境部

・健康福祉部

・産業振興部

・観光部

・市民生活部

・総務部

・建設部

・環境部

・健康福祉部

・産業振興部

・観光部

・市民生活部

・総務部



新規整備が待たれる産直かみごう

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

遠野広域経済圏の構築を図り 賑わいのあるまちの再生を



菊池 民彌 議員
(正心会)

問 政権交代に伴う事業仕分けにより、市予算への影響は。

答 当市の対象事業数は、おおよそ30件程度であり、農林関係事業が多い。地方交付税が減額されず安心だ。

問 平成23年供用開始するとしている給食センターの建設予算の計上は。

答 これまで整備については、有利な財源をどう確保するのか試行錯誤している。検討経過から、全国

公募での事業実施となる。建設工事の地域雇用、資材等が中央に流れることが予想され、地域経済へ与える課題が多いことから検討が必要である。検討委員会を設置し、この1年間センターのあり方について情報共有と課題を整理し、早急な対応をする。

問 納税貯蓄組合奨励費予算が、昨年度に比較し、倍以上の予算となっている。その要因はなにか。

答 納税貯蓄組合は、納税思想の普及や地域づくり等に貢献する団体である。補助金の使途の拡充と事務負担の軽減を図るため、新年度から補助金方式を委託方式に移行し、組合加入率減

少に歯止めをかけ、組合活動の活性化を図る。予算の増は、21年度分補助金と本年度委託料が含まれる。

問 遠野広域経済圏構想の具現化について。

答 圏域という枠組みの概念を超え、沿岸部と内陸部の中継地として、地理的条件を活かした制限のない地域連携を図り、内陸・沿岸と本市を結ぶ道路整備の進展に併せ、人、もの、情報が行き交い、活力あるまちづくりを進め、色んな場面で存在感を示し、時期逸しないよう展開していく。

問 産直について、農業振興と食育の観点からの評価は。

答 産直は、農業収入の増加、地域の活性化に非常に重要であると認識している。学校給食にも野菜を供給している。

問 上郷産直の設置のメドは。場所の決定はいつ

ごろか。

答 上郷産直組合と協議を重ね、構想を深めている。施設の規模、建設費、場所の位置づけ、販売計画、メニューの他の産直との差別化を進め、今年中の事業にしたい考えだ。



活力あるまちづくりを！

連携強化で期待が高まる 畜産振興センター



菊池 充 議員
(無党派)

畜産振興センター

職員は、職員の資質向上に努めていく。放牧事業の支援については、公共牧場の一元化に併せ、生産支援策として放牧使用料の一部助成を実施してきているが、条例で平成22年度までとなつてい

る。廃止若しくは継続については、平成22年度中において生産現場の状況等に鑑み、検討していきたい。草地基盤再編調査の推進については、現在国がまとめた基本調査を元に、遠野市における畜産振興施策の方向と手法を整理し、農林水産振興ビジョンに反映しているところである。新年度に向けても参入意欲のある企業との連携について、公共牧場の利活用も含めて協議を進めていく。畜産総合セ

ンター構想については、遠野市・花巻農業協同組合・東南部農業共済組合・畜産振興公社の畜産関係4団体の協力により畜産プラザ遠野を設置した。ワンストップ化に向けた推進組織としてマンパワーの充実と活用による新たな推進体制を構築していく。新しい生産振興施策の創設については、放牧助成等と併せ、全体での振興施策の中で検討していきたい。

いては全体延長2,030m。のうち1,600mを調査を含め3年で整備予定である。船渡線から鱒沢方面200m程度の部分は、道路冠水等の被害もあるた

め早期要望があることも踏まえて進めたい。

【その他の質問】

職員の定数管理について

問 一次産業の中でも、最も高い生産額を占める畜産の振興策についてこれまで4つの対策を示しているが、その経過と今後の対応策について伺う。

答 公共牧場の一元化については、平成20年度の公共牧場の統合により、料金の統一と畜産振興公社への管理一元化を図った公共牧場の運営について、利用者からは牧場施設及び草地などの改善、事故発生時における対応の改善が強く求められており、施設の整備や

ンター構想については、遠野市・花巻農業協同組合・東南部農業共済組合・畜産振興公社の畜産関係4団体の協力により畜産プラザ遠野を設置した。ワンストップ化に向けた推進組織としてマンパワーの充実と活用による新たな推進体制を構築していく。新しい生産振興施策の創設については、放牧助成等と併せ、全体での振興施策の中で検討していきたい。

問 道路交通基盤の整備で迷岡線、高館線の改良計画について伺う。

答 平成22年度から迷岡線については全体延長6,300m。のうち2,000mを、高館線につ



期待高まる遠野市畜産総合センター

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

更なる雇用就労の場の確保を



石橋 達八 議員
(無党派)

問 厳しい経済環境、景気状況が続いている。雇用対策、就労の場の確保、周知にどう取り組むのか。

答 平成21年度の「ふるさと雇用再生特別基金事業」では雇用21名、「緊急雇用創出事業」で92名の雇用を確保した。平成22年度も積極的に取り組む。新たに追加された「重点分野雇用創出事業」「地域人材育成事業」を活用し、79名の雇用の場の確保に努めていく。周知方法は、ハローワーク、とびあ雇用相談窓口において

ている事業所ごとの求人情報に表記し、お知らせする。また、遠野テレビの求人情報コーナーも今まで以上に有効活用していく。

問 本市の高齢社会を安心して迎える為にはどのような施策を考えているのか。特に介護療養型医療施設を設置すべきと思うがどうか。

答 第4期介護保険事業問題を着実に実施していく。訪問を確保した。訪問介護サービスの拡充では、現在24時間対応の訪問介護事業所は、6事業所中2業所である。今後、24時間利用の需要の増加が予想される場合、市としても事業所と協議し、利用者の利用の抑制

にならないよう対策を講じていかなければならない。介護療養型医療施設は、必要性を感じているものの、同施設は平成24年3月を目途に廃止される方針が示されている。今後の国の動きに注視すると共に、給付と負担のバランスを配慮しつつ、第5期介護保険事業計画策定の中で検討する。

問 けいれん性発症障がい(SD)など疾病を持つ子どもに対する理解を学校でどう指導しているのか。

答 現時点では、市内小中学校にけいれん性発症障がいや失語症の課題を持つ児童生徒はないと認識しているが、様々な障がいや発達課題を抱えている子

どもたちの実態を、教育委員会としてしっかり把握することは重要である。様々な課題を抱える子どもたちと共生する教育の充実と

もに、特別な支援を必要とする幼児、児童、生徒への正しい理解と教育的ニーズに応じた対応が、全ての学校に求められている。



ヘルパー講習閉講式のもよう

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

中学校再編成計画について



荒川 栄悦 議員
(清風会)

問 新教育長になられて、再編成計画案について各町

で懇談会を行ったが、その総括は。

答 今回の懇談会を通じ、色々な意見はあったが、小友を除けば総じて教育委員会が提示している市内8校を、3校に再編成する計画案について多少の温度差はあるものの、概ね理解を戴いていると受け止めた。特に附馬牛にあつては地域協議会や小中PTAの集まりを持ち、計画案見直しの署名活動を行った団体の

方々も含め、計画案を了解する前提に立ち、再編成への要望事項をまとめて行きたいとの代表者からの発言を戴いた。また、小友町については、話し合いの窓口となる「中学校再編成計画を考える会」との積極的な話し合いの場を創っている。計画決定の時期が延び

ていることによる市民皆さんの不安を払拭したい。

問 再編成計画案についての合意形成は誰がいつ、どのように判断するのか。

答 数で白黒を付けるような住民投票やアンケートを、計画案を示しているこの段階で取ることは考えていない。あくまでも議論を積み重ねることによる話し

合いの中から、また、再編成への市民の方々の反応や様子から、合意形成の判断をしたいと考える。今後においても、誠心誠意、意見交換の場を大事にしていく所存である。

問 遠野市わらすっこ条例に、再編成計画の当事者である子どもたちが意見を述べる権利が保障されているが、生徒から意見を聞く考えはないのか。

答 中学校再編成計画の根幹を成す学校数、学区設定、校舎位置、再編成時期等の基本的事項については、大人の責任において道筋を決めるものと考えており、子どもたちから意見を聞くことは考えていない。子ども

もたちの出番は、参加すべき内容を大人が見分けてから、その後の新しい学校づくりに参加させることにこそあり、その中で、意見を表し、その意見が反映される仕組みを作ってあげるこ

とにある。中学生が大きく成長できる、より良い教育環境を目指した再編成計画について、保護者や地域の方々の理解や支持がますます深まるよう、誠心誠意努力していく。



改築が待たれる遠野中学校

一般質問(文責は質問者)

市政を問う



新田 勝見 議員
(新和会)

人口減と定住活性化策について

問 市政課題が山積している。特に新規卒業者の雇用やリストラである。市内高校を卒業して毎年のように200人を越す人材が流出している。ますます市においては、少子高齢化と人口の減少が進むと思われる。基幹産業である農業においても政策の変化や価格の低迷によって、厳しい状況にある。市では3年半前に立ち上げた「でくらす遠野」定住促進事業がある。移住希望者の受け入れや空き家の調査などを行ってきたが、

その成果と課題について伺う。

答 これまで21世帯43人の方々が移住している。しかし、売買できる空き家物件が10件程度と少ないことで、当市への移住を断念する方が多いのが現状である。

問 平成15年度に宮守村で1人の緑のふるさと協力隊が受け入れになり、それから7人の方が来遠し、活動している。住民との交流から自然、風土、文化など幅広く活動して1年。その後定住している方が7人中5人と聞いている。定住率71%であり、全国的に見てもなんと42%が派遣先の定住を選択している。この

種の事業には「田舎で働き隊」、「地域おこし協力隊」など、総務省、農水省で推進している。私は、様々な手を尽くし、100人くらいの規模で受け入れし、年間40人くらいの定住者を見込めると思うが、市ではそういう考えはないか。

答 需要と供給のバランスなど、地球緑化センターとの協議が必要となる。また、多くの定住を進めるには、コーディネートや「でくらす遠野」と連携して住まいの確保など、市の体制づくりが重要となるので、1人でも多くの若者が遠野市に定住できるような仕組みづくりを検討する。

問 公設林業大学校設置に向けて調査を行うようだが、林業に特化せず農業、水産業も、そして定住希望者が学べる場としても提供

できるような大学校が望ましいと思うがどうか。
答 森林資源を有効に活かすための大学校にしたい。



今後も活躍と定住が期待される緑のふるさと協力隊

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

農林水産振興ビジョンの推進体制は



浅沼 幸雄 議員
(正心会)

課題も確認した。それらを生かしながらこれまでの取り組みをパワーアップさせるため、タフビジョンを策定した。

実践的アドバイスもますます重要となることから、アドバイザーの配置も計画している。

ha、額にして約1億円以上という試算もあり、深刻な状況で、放置しておけないと認識している。対策については、平成22年度は更に

予算を増額し取り組みを強化させ、同時に近隣市町とも連携を図りながら広域的な対策も検討していく。

問 政権交代により農業政策が大きく変わろうとしている今、当市では計画の期間を平成22年度から27年度までの6年間とする「遠野市農林水産振興ビジョン(通称タフビジョン)」を策定した。当局ではこのタフビジョンをどのような体制及び展開により推進を図るのか。

答 これまでアストを設置し、各種農業政策を実施してきた。今回のタフビジョン策定に当たり、アストの中間検証を行いその結果と

その展開には、関係機関の連携・協働のもと、更なるマンパワーが必要と考え、本年4月から遠野行政センターにアスト、農業政策担当、農業委員会事務局が移動する予定であり、それにより農業部門のワンフロア、ワンストップ化が実現し農家の利便性の向上が図られる。

又、農業委員会と協議し、

平成22年度から、業務を特定して農業委員の皆様にもタフビジョンの推進に協力してもらおうことへの合意形成にも努め、農業者への実

関係機関との適時適切な連携のもと、必要な対策を柔軟に講じていく。

問 近年の状況を見ると、毎年野生鳥獣の被害が増加し、拡大し続けている。当局ではこの被害状況をどのように把握し、抜本的な対策をどう講じていくのか。

答 現在、農作物に大きな被害を生じさせている主な鳥獣は、ニホンジカ、ツキノワグマ、カラスであり特にシカによる平成19年度

の被害面積は、1,570



ブランド化が期待されるブルーベリーの選別作業風景

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

在宅介護が求める支援策について



菊池 邦夫 議員
(新和会)

問 在宅介護者家庭に対する支援策の更なる充実、特にも高齢者の在宅生活の支援を図ってほしい。また、課題解決のための地域包括支援センターの役割は十分果たされているか。

答 福祉用具給付の種類を増やすとともに、住宅改修事業費の上乗せを行う。第4期計画では、在宅型の施設である小規模多機能型介護事業所、いわゆる通所・訪問・泊まりを組み合わせた地域密着型の施設を3施設整備する。

地域包括支援センターについては、これまでの取り組み等について検証し、更に関係機関団体との連携を図り、高齢化が進む今後に向けて機能強化に取り組んでいく。

問 地域資源を活用した観光振興を図るべきではないか。

山口集落における重要な文化的景観の取り組み状況はどうなっているか。

答 「ふるさと」を感じてもらおうような、人と人が関わるような市民協働によるマンパワーの結集が不可欠であり、触れ合いの場の創出に努める。山口集落は、遠野物語に登場する文化遺産が多くあり、佐々木喜善

の生家は集落に残る唯一の曲り家であり、重要な構成要素でもある。

平成23年度には、国に重要文化的景観選定への申し出を進めたい。

問 公共施設の管理に当たって、行政の効率化のために、行政サービスを民間に委ねる指定管理者制度を導入しているが、外部化に伴う責任のあり方については。

答 県内でも約1,500施設が指定管理者制度によって実施されている。当市では平成21年度現在52の施設を外部委託している。賠償責任の所在、賠償金の分担等については、協定書を取り交わし

明記している。

問 中学校再編成計画との関わりもあるが、遠野中学校の校舎は老朽化が著しく、危険な校舎であり、

早期整備の検討を進めるべきではないか。

答 遠野中学校の早期改築に向け、諸条件の整備に鋭意努力していく。



子供たちと高齢者との和やかな交流風景

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

新政権の農業政策に対する市長の見解は



小松 大成 議員 (無党派)

問 新政権の米政策で「戸別所得モデル対策」「水田利活用自給力向上事業」が打ち出され現在地域説明会が開催されている。しかし、現場の農民の声は、これまでの農業政策と何が変わったのか判らないといった声が聞こえる。市長の見解は。

答 この制度が目指そう
また、担い手アクションサポート事業に代わる政策とされた「農業経営改善総合支援事業」予算が事業仕分けにより廃止されたが当市の農業施策への影響は。

とする、米生産の自由度の方向、或いは水田のフル活用、農家への所得保障の方向については一定の評価ができるが、対策の内容については様々な課題も感じられる。「農業経営改善総合支援事業」の廃止は残念である。現在その対応策をJAとも協議している。

問 医療制度の中に、癌をはじめとした先端医療技術に対する医療制度として、先進医療制度がある。その多くが公的保険適用外となっており、治療をあきらめる患者も少なくない。効果の著しい先端医療技術の早期保険適用を政府に求めるべきでは。
答 先進医療に係る経費は

全額自己負担であり、患者と家族の経済的負担は大きく、場合によっては金額によって治療方法が左右される。医療が安定的に提供され、医療の発展基盤となる保険制度の充実の観点で働きかけていく。

問 マスコミ報道で洋野町の医師奨学生制度で医師になり、奨学制度義務期間を超えても地元に残り診療活動を行っている、といった記事が紹介されていた。自力で長期の医師確保対策を講じている。当市でも調査・研究すべきでは。
答 医師確保のための奨学生制度については、これから医師を志す人を育てていくことも大事なことなの

で、有効な仕組みづくりなどの検証を重ねたい。

問 今般「快適住マイル応援事業」として住宅リフォームへの支援が行われるがこの中で太陽光発電導入も助成対象とする

答 まずはこの事業を住宅リフォーム等に要する費用助成対象として実施したい。住宅用太陽光発電設備支援対策については、今後の課題として検討したい。



太陽光発電設備導入への助成を

1月臨時会

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池充議員、副委員長は菊池巳喜男議員）は、条例2議案について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、特に地上デジタル難視聴解消対策に係る加入金の減額についてや、市道の除排雪と凍結対策、遠野物語100周年記念将棋名人戦歓迎事業費についての質疑が交わされました。その結果、2議案とも原案のとおり可決されました。

市内の地デジ難視聴対策をどう進めるのか

問 来年7月24日で地上アナログ放送が終了する。その対策として、国とNHKではケーブルテレビ加入への支援制度を創設した。それを受けて遠野テレビとしてはどのような難視聴対策、加入対策を講じるのか。

答 市内のデジタル中継局は物見山のみであり、このままだと遠野テレビに加入していない多くの世帯が難視聴になる可能性がある。そこで、この支援制度を活用し、低額な料金プランにより遠野テレビ加入率を80%以上に引き上げたい。そのため、遠野テレビ加入推進月間を今年4月1日から9月30日までの6か月間と定め、かつ、難視であるなしを問わず、その期間に加入する世帯全て、加入金を5千円とする。デジタル中継局が整備されない約600世帯、デジタル難視世帯約300世帯、市内未加入世帯約300世帯への加入推進を強力に図ろうとするものである。また、サービス内容についても、標準タイプ月額3,150円以外に、格安の月額2,100円タイプも用意する。更に、インターネット接続について、これ

までの1メガバイト、2メガバイト、10メガバイトコースに30メガバイトコースを追加し、高速通信時代に対応したサービスを提供していく。

※メガバイトとはコンピュータで扱う情報量の単位。メガバイトは通常「MB」と記述される。

議員談話室

“春は名のみの風の寒さや”の如く、今年は春が例

年より遅く、まだまだ雪の気配が感じられる昨今だが、冷え切った景気的好転が待ち望まれるのは、国民すべての願いだろう。昨年8月の総選挙で、60余年続いた自民党政権が、民主党を中心とした連立政権に代わり、半年が経過しようとしているが、この間の政治体制の様変わりには明治維新に匹敵するかのよう激変であり、従来の考え方をどのように転換すべきかが、地方議会に身を置く我々議員としても、考えなければならないと思う。新しく発想を転換させ、国民主権の立場と、公共の福利を追求する原則を地方議会の場でも発揮しなければと考える。山積する市政課題を、市民一人一人と共有する姿勢を持ちながら議員活動に励まねばと考える。

「新しき明日の来たるを信じつつ」

(佐々木讓議員)



4月からデジタル放送を開始する遠野テレビ

3月定例会

予算等審査特別委員会

予 算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例9件、予算17件、その他5件の31議案について付託を受け、6日間の審議を行いました。今委員会では、21年度補正予算等と22年度一般会計予算等が示され、農林水産振興ビジョンや地域連携型緊急雇用創出事業等について活発な質疑が交わされました。その結果、全議案が原案のとおり可決されました。

市内の雇用創出をどう図っていくのか

問 地域連携型緊急雇用創出事業の主な内容は。

答 前年度より3倍程度予算を増やしているが、国の基金を活用したものが主なものであり、ふるさと雇用とか緊急雇用、新たに新設した住建事業や人材育成な

どで、31事業ほど計画している。

問 人材育成の内容と今後の事業展開は。

答 介護の人材をはじめ、各種人材が不足していることから、働きながら資格を取る事業を進める。例えばホームヘルパー2級とか介護士の資格取得などであり、一方では企業の現状を把握しつつ雇用対策関係者とタッグを組んで雇用確保に努めていく。

複式学級への加配教員の配置は

問 22年度における市内小学校の複式学級の状況は。

答 2校で3学級となる予定である。

問 3学級全てに県からの加配教員はあるのか。

答 2学級についてはあるが、1学級については児童数が県の基準に満たないの

で加配はない。

問 県からの加配教員がない学級について、市で配置する予定はあるか。

答 22年度は予定していない。

問 教育の機会均等の観点からも配置して、複式学級の解消を図るべきと考えるがどうか。

答 再度検討してその実現に向けて努力したい。

遠野物語発刊百周年記念事業について

問 平成22年度の遠野物語の記念事業を、どのように推進するのか。

答 遠野物語は柳田國男が土淵の佐々木喜善から地元にも伝わる話を聞いて119の話を本にまとめたもの。遠野の厳しい自然の中で、今まで遠野の人たちが培い、育

んできたものが息づいている。文化を継承しつつ、遠野物語を大切な宝として市民がもう一度認識し、全国に発信していく。遠野に来て頂き、日本のふるさと遠野を感じさせる事業の展開を考えていきたい。

問 遠野の活性化に大きく関わってくる市民の盛り上がりについての考えは。

答 みんなで築くふるさと推進事業の中で、今年度も市民の理解を得ながら、足元にある事業を進めていく。



全国的に注目されている子供語り部

遠野物語 百周年
The 100th Anniversary of The Legends of Tono 2010

3月定例会

予算等審査特別委員会



夜にも聞いてみたい昔話

夜の遠野型観光について

問 市内の若者たちと遠野の観光について意見交換会を持った。そこで遠野の夜の観光を売り出すべきという意見が出された。それは、昔話は夜に語られていたのだから、曲家で囲炉裏を囲みながら聴き、外の見えない闇を感じてもらおう。その結

果、観光客が市内に宿泊してくれる、等の着地型観光のヒントになるような貴重な意見を頂いたが、当局の考えは。

答 「ざっくばらんに夢を語る会」で夜の観光についての他にも多くの意見があったことは理解している。すぐやれること、すぐに生かされること等については、積極的に取り組んでいきたい。

農産物加工施設について



問 農産物加工施設の進捗状況について伺う。

答 営農組織体とJAとで実施設計に向けて協議中である。

問 その事業主体はどこか。また、多くの農家の方々も利用を求めていると思うが、その利用料金は。

答 宮守川上流生産組合が行う予定となっている。利用料については、以前JAが行っていた料金を中心に検討中である。

問 この事業について、以前はJAも一体となつて行うとしていたが、JAの負担は。

答 応分の負担となる。

農林水産振興ビジョンについて

問 タフビジョンでは、販売農家3千戸の中のどこに主体を置いて農家所得の向上を目指すのか。

答 専業農家をまず支援していきたい。もう一つは集落単位で取り組んでもらう事で、農地の活用とか、高齢者・女性労働力の活用への支援をしていきたい。

問 高収益販売農家拡大等のためにアドバイザー配置による支援体制充実とあるが、どのようなアドバイザーを考えているのか。

答 作物栽培の指導・販路担当1人、新規就農・後継者育成掘り起こし担当1人、担い手担当1人、農地利用集積担当1人の4人を考えている。

問 畜産について、繁殖、肥育一貫した体制への移行とあるが。

答 市内でも肥育農家があるので、繁殖・育成・肥育・販売まで一貫した生産体系を構築していきたい。それがブランド化に繋がっていく。大手量販店と組んで、肥育したものを遠野産牛として販売する組立てを検討中である。

問 このビジョンを実践するのは農家であり、情報の共有をきちんとやるべきである。農家の参画がビジョンの中にないと農家はこういうモチベーションでこのビジョンにチャレンジしていくのか見えてこない。

答 宮守ホールで「みんなで語ろうタフビジョン」のテレビ討論会を開催した。様々な意見等もこれまでもいただいております。今後とも農家の意見を取り入れながら、このビジョンを策定していきたい。

私のひまわり



菊池 真奈美 さん
(土淵町)

「子供たちの成長にあたって」

私の家族は9人家族で子供が4人います。4月から長男が6年生、次男が5年生、三男が3年生、長女が保育園であか組になります。3月中旬に子供達がいんフルエンザにかかり、次々と感染して大変でした。今はすっかり回復し、次男や三男はスポ少で頑張っています。4月からは練習試合が入って毎週忙しい日が続きます。

ところが、私はとても有り難いとだと思えます。現在児童手当を4ヶ月毎に給付され助かっています。子供が小学校までは、出費といっても僅かですが、中学、高校はお金がかかると思います。何かと入り用なこの時代に、子供たちのためにも上手に利用していきたいと思えますし、皆さんの税金でもありますので、感謝して利用させて頂きたいと思えます。

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

皆様からの議会への提言をお待ちしております

編集後記

今春、遠野の里にも桜の季節の到来である。春といえば卒業と入学、別れと出会いの季節でもある。この春、卒業し就職する市内の高校生は90名、内、県外への就職者は35名、遠野から若者が流出し、遠野の元気も併せて流出していく気がしてならない。

遠野の将来を考えると、わびしい気持ちにもなるが、愛しんだ市内に就職する頼もしい若者もいる。若い力を発揮し民話の里で大いに活躍してくれることを祈念し、エールを送りたい。雇用も厳しく、市内の求人倍率は0.3倍と低迷し、市内企業での雇用不安もあり、油断できない状況下と聞く。市民の安心・安全を考えると治安も大切である

が、今一番求められているのは、地域の産業振興と雇用対策である。

3月議会でも22年度予算も成立し、遠野物語発行百周年の今年、新年度がスタートした。市民一人ひとりが幸せを感じる行政にしたい。

(巳喜男)

■ 広聴広報特別委員会

□ 委員長

瀧澤 征幸

□ 副委員長

菊池巳喜男

□ 委員

荒川 栄悦
織笠 孝之
浅沼 幸雄
新田 勝見

次の定例会は、6月4日(金)から6月11日(金)までの8日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。